

～取り組み～

ボランティア委員会 「環境ボランティア」

日を追うごとに充実してきている友愛記念病院のボランティア活動。そのなかから今回は、環境ボランティアの活躍ぶりをご紹介します。

趣味や特技を生かした雰囲気づくり

環境ボランティアとは、植物やインテリア小物などで美観を整えるボランティアです。それぞれの趣味や特技を生かした活動で、院内の雰囲気を演出します。当院では、現在2名の環境ボランティアが活躍しています。

緑に乗せて外の空気を病棟へ

皆さんは、緩和ケア病棟の一角に、素敵なイングリッシュガーデンがあるのをご存じですか？この庭を手掛けていらっしゃるのが、岡美佐子さんです。庭の設計から植え込み、そして日々の手入れまで、一人で担当されています。



人形なども配置されて、楽しく演出されたイングリッシュガーデン。岡さんの細やかな気づかいが感じられます。



後ろの絵画も岡さんの作品です。病棟を彩る作品や緑は、「心が安らぎますね」と付き添いの方々からとても感謝されています。

岡さんが環境ボランティアに興味を持ったのは、お友達の入院がきっかけでした。「毎日のようにお見舞いに行く私を、同室の他の患者さんも楽しみにされていたんです。皆さん、私を通じて外を感じたかったのだ

と思います。その様子を見て、入院患者さんにとって外の空気に触れることがいかに大事か分かりました」と岡さん。

「気が向いた時にポツポツとつくってきた」そうですが、造園開始から1年以上が経ち豊かに成長した庭は、四季折々に季節の風を運んで、患者さんの心を和ませています。

生け花を通して皆さんに力と明るさを

正面玄関で、私たちを出迎えてくれる見事な生け花。この花を担当されているのは、山中キヨ子さんです。山中さんは、実は近所のお菓子屋さん。数年前、たまたまお菓子を買いに立ち寄った当院の職員が、店頭飾ってあった梅の花に目を留め、「今度、病院にも持ってきてよ」とお願いしたことが環境ボランティアに協力いただくきっかけとなりました。

生け花があることで病院の雰囲気が変わったと、皆さんに大好評。山中さんご自身も、「少しでも皆さんの力になれるように、



季節感もたっぷり、見ごたえのある山中さんの作品。次はどんな花を生けてくださるのか、私たちも毎回、楽しみにしています。

明るさを心がけながら」花を生けていらっしゃるそうです。

生け代えは、週に1回のペース。「本当は、もっと回数を増やせればよいのですけど…」と山中さん。